土と芽だより

平成 28 年 10 月　117 号

リオオリンピック・パラリンピックが閉幕しました。今回の大会では日本選手が大活躍し、メダル数がオリンピックは金 12 個、銀６個、銅 18 個、またパラリンピックでは銀 10 個、銅 14 個とそれぞれ前回の大会を上回り４年後の東京オリンピック・パラリンピックに弾みを付けました。選手の皆さんに大きな拍手 (^-^)v

また、10 月 20 日に阪神地区保護者研修会がアルカイックホール・オクトで行われます。より良い研修会になるよう只今準備の真っ最中。沢山の方のご参加お待ちしています。

発　行

一般社団法人
尼崎市手をつなぐ育成会

〒660-0893
尼崎市西難波町２－３－１０
TEL 6419-3897/ FAX 6419-3899
E-mail：ikuseikai.ama@y3.dion.ne.jp
http://www.ikusei-ama.com/

部会・委員会

行事名	**第１回心障連役員会**				
日　時	７月 15 日（金）	場　所	かがやき（七松）		
内　容	1. 第 51 回定期総会の報告と反省　出席者 83 名 講演　「障害者差別解消法について　～尼崎市の取組み～」 講師　尼崎市障害福祉課　課長　富田 憲幸 氏 2. スポーツ大会（9/24）…ベイコム総合体育館メインアリーナ 3. 市民福祉のつどい（11/12）…橘公園噴水広場 4. 父と母の学校（12/8）…中央公民館大ホール 講演　「障がいのある人が自立した生活を送るために必要な金銭管理について」 講師　大阪府障害者福祉事業団　鹿野 佐代子 氏 5. その他				
行事名	**福成会との話し合い**（成年期部会・Ａプロチーム Ⅲ）				
日　時	７月 21 日（木）	場　所	中央公民館	参加者数	48 名
内　容	１．福成会各事業所の状況について ・生活介護…全事業所で「見える化プロジェクト」を実施。 ・就労継続支援Ｂ型…いつまで働き、誰が決めるのか？が課題になってきている。 ・就労移行支援…発達障害者が多くコミュニケーションの課題が多い。プログラムを充実させ細かい指導をしている。企業にも個別の対応を提案している。 ＊定員割れをしている所があり、利用者の確保も課題。支援学校に福成会の取組みを				

	知らせている。 2．高齢化への対応について ・機能を維持していくため理学療法士に月 1 回巡回訪問をしてもらいアドバイスを受けている。SC まつば隣の特別養護老人ホーム西長洲荘とも交流し情報を得ている。 ・ＧＨは必要。人員配置や整備、スプリンクラーの設置などＧＨ構築会議を行い考えている。他市にも見学に行っている。 3．ぷちるぽの運営状況・職員配置について ・職員体制は SC まつばの職員と一体化。 ・緊急対応はサービス管理責任者が中心になり対応。他の事業所とも連携をとり安心して利用できるよう取り組んでいる。 4．質疑応答

行事名	**幼児期・学齢期研修会**				
日　時	9月 15 日（木）	場　所	あこや学園	参加者数	40 名
内　容	演題　「音楽療法ってどんな音楽するの？～その成果とは？～」 講師　米津　多美 氏 ・ストレッチ体操…音楽にあわせ、ゆっくりと体と心をほぐす。ボディパーカッションで脳を活性化する。 ・楽器を鳴らしましょう…「音」は心の言葉。自由に奏でる。 ・リズムステップ…カッコいい曲にあわせて、手拍子やステップを踏む。 ★米津先生より長年の活動内容と生徒たちの成長過程の説明がありその後お母さんたちで歌をうたったり、リズム体操をした。				

行事名	**第２回かがやき運営委員会**		
日　時	9月 28 日（水）	場　所	育成会事務所
内　容	1．近況報告…公園・室内作業の内容 2．今後予定…10/19 社会活動（かねてつ）、11/12 福祉のつどいの舞台出演 3．その他		

阪神地区保護者研修会のお知らせ

日　時　平成 28 年 10 月 20 日（木）10 時 20 分～15 時
会　場　あましんアルカイックホール・オクト
テーマ　「あなたの街の防災力!!」　～不意の災害に不断の用意～

（午前の部）式　典　10 時 20 分 ～ 10 時 50 分
講　演　11 時 00 分 ～ 12 時 30 分
「防災力を高めるには」　～知恵と工夫で、手をつなごう～
関西大学社会安全学部准教授　近藤　誠司　氏
（午後の部）シンポジウム　13 時 30 分 ～ 14 時 55 分
＊シンポジスト　兵庫県防災企画課、川西市総務部危機管理室、尼崎市危機管理安全局
＊コーディネーター　近藤誠司氏

その他報告

行事名	第３回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会　神奈川大会				
日　時	７月２・３日（土・日）	場　所	神奈川県民ホール	参加者数	４名
内　容	＊７月２日（土） ・第１分科会　大切な命を授かって生まれる～家族支援と本人支援のバランスを考える～ ・第２分科会　インクルーシブな社会で育つ～権利条約から読みとく教育・社会参加～ ・第３分科会　自分らしさを発揮して生きる～可能性を引き出す支援の実践～ ・第４分科会　成人後の人生を自立的に暮らす～制度を利用する際の意思決定支援のあり方～ ・本人大会　ぶっちゃけトーク、はたらくトーク、生き方トーク、手作りワークショップ 横浜市内バスツアー ＊７月３日（日） ・大会式典 全国育成会会長表彰…井上三枝子（公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会　副理事長） ・記念講演　「よろこびを力に…」　講師　元マラソン選手　有森　裕子 氏				

行事名	県第２回阪神地区連絡協議会				
日　時	７月 14 日（木）	場　所	尼崎市総合文化センター		
内　容	１．県育成会からの情報 ２．各市・町情報交換 ３．阪神地区手をつなぐ育成会保護者研修会について ・防災アンケートをまとめる。 ・当日は兵庫県、川西市、尼崎市の防災に対するシンポジウム。 ４．その他　　５．次回開催日　11 月 17 日（木）				

行事名	県第１回地域生活・就労支援部会（第１回相談員研修会併催）				
日　時	９月８日（木）	場　所	県福祉センター	参加者数	７名
内　容	演題　「知的障害の人の雇用に関する取り組み」 講師　　株式会社ユー・エス・ジェイ 人事部　課長代理　川根雅幸 氏、主任　瓜生宣子 氏 ・グランドオープンした 2001 年より**インクルーシブ雇用**といって特例子会社を作るのではなく社員として雇用。 ・障害者のサポートとして人事部で４名の専任者、社内では企業型職場適応援助者１名、障害者職業生活相談員 22 名体制をとっている。 ・2016 年６月現在では障害者 93 名の内知的障害者 46 名雇用。 ・採用については、毎年９月１日ホームページで採用活動 **①書類選考**（15 歳～64 歳まで）⇒　**②一次インタビュー**（簡単なテスト）　⇒ **③二次インタビュー**（希望職種の上司との面談）⇒　**④職場実習**（基本２週間） ⇒　**採否確定**　　**★どの職種がその人に合っているのか見極めるのが大事。** ・働き続ける為には成功体験も必要だが失敗も経験し、失敗したらどうするか、失敗した人をどう助けるかが大切。 ・職場はチャレンジする場所ではなく力を発揮し会社に貢献する場所。				

行事名	県七野友子氏による「特別講演会」				
日　時	9月26日（月）	場　所	県福祉センター	参加者数	３名
内　容	【午前の部】 演題　本人と保護者と職員の心につながる「心のケア」について 講師　言語聴覚士　七野　友子　氏 ・心のケアは生活支援の一部。誰も心がささくれ立ちイライラすることがあるが、障害のある人達は解消する術を知らない。積もり積もってフラッシュバックが起こる。 ・こだわりについて⇒自分がいつもやっていることをすると安心(常同行動) ・小さいころから本音に即した行動がとれない⇒**マイペース心性**⇒心ならずも不適応言動をするのは、人と人との間で甘え甘えられる、また助けを求め、助け合える関係が出来にくいのが一因 ・行動制御をしようとする気持ちはあるので良い時に良い関係を築き、つらい時はつらいとわかってあげることで行動制御につなげる。 **・行動制御ができれば本当の意味で自分の自由が得られる。** 【午後の部】 ・実践体験ではヒモを使って相手との距離感や気持ちの動きを感じ取る。 ・昔から手当てという言葉があるように手にはパワーがある。５ 人でのワークでは １人が椅子に座り残りの ４ 人の手（指）のパワーで椅子に座っている人を持ち上げる事が出来て驚いた。				

行事名	県福祉の集い				
日　時	9月29日（木）	場　所	神戸メリケンパークオリエンタルホテル	参加者数	６名
内　容	【午前】 演題　「重い障害のある人のいのち」～いま世界で起こっていること～ 講師　フリーライター　児玉　真美　氏 ・「世界はどのような場所になろうとしているのか」現実の厳しさを実例を交えての説明があった。 ・障害者は何も分かっていないという前提で物事が進んでいるということを改めて知ることができ、これからの啓発について考えさせられた。 【午後】 シンポジウム テーマ「親なきあとも安心して託せる社会を」 発表者 兵庫県重症心身障害児（者）を守る会　会長　小山　京子　氏 公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会理事長　小原　冷子　氏 兵庫県知的障害者施設家族会連合会　会長　由岐　透　氏				

…… 訃 報 ……

7月　笹　川　洋　子 様（サポートセンターまつば　笹川直樹さんのお母様）

　　田　口　春　夫 様（サポートセンターまつば　田口春義さんのお父様）

こころよりご冥福をお祈りいたします。

理事会報告

★7月8日　第43回

①地区懇談会報告　　②市への要望について検討

＊その他…熊本地震に対する義援金を尼崎市育成会から５万円、皆様からの募金３万円合わせて８万円を県育成会から被害にあった方にお渡ししました。

【地区懇談会報告】

議題…①次年度からの保健福祉センターについて説明　②身近にできる健康体操　③市への要望　④その他

地区	日時	場　所	参加者	感　想
中央 大庄	6/24	大庄地区会館	14名	①知らない人もいてまだ不確定な部分も多いので市報などで注意していきたい。②音楽に合わせ楽しく体操ができた。③選挙についての合理的配慮をもっと進めてほしい。
小田 園田	7/7	小田公民館	28名	①支所の老朽化や乳幼児健診が手狭になっている現状。保健と福祉の協力体制が発達障害にも素早く対応できるようになるのではと期待する。②ロコモチェック、予防体操「ロコもかしこもサビない♪」は東日本大地震で始まった。③選挙での障害者対応をもっと進めてほしい。また、新設される尼養か公民館の一室に核となる基幹支援センターを設置してほしいとの要望があった。
立花 武庫	6/15	女性センター トレピエ	28名	①地区によっては場所が遠くなるとの声があった。②片足立ちでは１分を超える人もいた。簡単なスクワットや夏バテ防止レシピも教えてもらった。子どもも心配だか親が健康でないと…との声に何回か体操をしても良いのではとの声があった。

★9月9日　第44回

①市への要望について確定…9月30日提出

②阪神地区保護者研修会について

行事報告

月　日	曜日	行　　事	月　日	曜日	行　　事
7／2・3	土・日	第３回全国育成会全国大会(横浜市)	8／26	金	Aプロ Ⅱ（GHホーム見学）
7／7	木	小田・園田地区懇談会	9／2	金	ぽっぽクラブお試し
7／8	金	理事会	9／6	火	役員会
		社会保障審議会			第２回スポーツ大会・福祉のつどい実行委員会
7／14	木	第２回阪神地区連絡協議会	9／8	木	第１回地域生活・就労支援部会
7／15	金	第２回心障連役員会	9／9	金	理事会
7／19	火	まんまるはーと(武庫民生委員)	9／13	火	Aプロチーム Ⅱ
7／21	木	成年期部会・Aプロ Ⅲ(福成会との話し合い)	9／14	水	バザー値付け
7／22	金	第１回ｽﾎﾟｰﾂ大会・福祉のつどい実行委員会	9／15	木	幼児期研修会（米津先生講演）
7／23	土	あこや学園夕涼み会	9／18	日	たちばなまつり⇒中止
7／25	月	自立支援協議会あまっこ部会	9／24	土	スポーツ大会
7／26	火	自立支援協議会くらし部会	9／26	月	県「特別講演会」
7／27	水	南警察署協議会	9／27	火	自立支援協議会あまっこ部会
8／2	火	本人部会下見			自立支援協議会くらし部会
8／4	木	ピッコロシアター合同作品展打ち合わせ	9／28	水	次年度の福祉のつどいについてヒアリング
8／10	水	新任相談員研修会			第２回かがやき運営委員会
8／21～27	日～土	育成会・福成会合同作品展	9／29	木	県福祉のつどい
8／22	月	自立支援協議会あまっこ部会	9／30	金	まんまるはーと（清流園家族会）
8／23	火	自立支援協議会くらし部会			自立支援協議会ガイドライン部会
8／24	水	まんまるはーと(関西国際大学)			オクトホール打ち合わせ

７月 26 日神奈川県の津久井やまゆり園で障害のある人 19 人が殺害されるという痛ましい事件が起きました。その後、育成会はいち早く声明文を発表しました。機関紙「手をつなぐ」９月号では事件に関しての特集が組まれ、障害のある人たちの様々な写真と声が掲載されました。その写真からは一人ひとりの生き生きとした生活が伝わり、生きる価値のない人は一人もいないという熱いメッセージを発信しています。今回の土と芽だよりに、久保厚子会長からの声明文２通を掲載し、改めて皆さんに障害を持つ人達の人権について考えていただき、また育成会の使命として二度とこのような事件が起きないよう更に啓発を進めなければならないと思っています。
最後に亡くなった方のご冥福と怪我をされた方や心に傷を受けられた方の一日も早い回復をお祈り申し上げます。

津久井やまゆり園の事件について

7 月 26 日に、神奈川県にある「津久井やまゆり園」という施設で、障害のある人たち 19 人が殺される事件が起きました。容疑者として逮捕されたのは、施設で働いていた男性でした。
亡くなった方々のご冥福をお祈りするとともに、そのご家族にはお悔やみ申し上げます。また、けがをされた方々が一日でも早く回復されることを願っています。

容疑者は、自分で助けを呼べない人たちを次々におそい、傷つけ、命をうばいました。とても残酷で、決して許せません。
亡くなった人たちのことを思うと、とても悲しく、悔しい思いです。

容疑者は「障害者はいなくなればいい」と話していたそうです。
そのことで、みなさんの中には、不安に感じる人もたくさんいると思います。
そんなときは、身近な人に不安な気持ちを話しましょう。きっと、話を聞いてくれます。
そして、いつもと同じように毎日を過ごしましょう。
不安だからといって、生活のしかたを変える必要はありません。

障害のある人もない人も、私たちは一人ひとりが大切な存在です。
障害があるからといって誰かに傷つけられたりすることは、あってはなりません。
もし誰かが「障害者はいなくなればいい」なんて言っても、私たち家族は全力でみなさんのことを守ります。
ですから、安心して、堂々と生きてください。

平成 28 年 7 月 27 日

神奈川県立津久井やまゆり園での事件について（声明文）

平成 28 年 7 月 26 日

平成２８年７月２６日未明、障害者支援施設「神奈川県立津久井やまゆり園」（相模原市緑区、指定管理者・社会福祉法人かながわ共同会）において、施設入所支援を利用する知的障害のある方々が襲われ、19 人が命を奪われ、20 人が負傷するという未曾有の事件が発生しました。被害に遭われ亡くなられた方々に、衷心よりご冥福をお祈りするとともに、ご家族の皆様にはお悔やみ申し上げます。また、怪我をされ治療に当たられている方々の一日も早い回復をお祈り申し上げます。

抵抗できない障害のある人に次々と襲いかかり死傷させる残忍な行為に私たちは驚愕し、被害にあわれた方々やそのご家族の無念を思い、悲しみと悔しさにただただ心を震わせるばかりです。職員体制の薄い時間帯を突き、抵抗できない知的障害のある人を狙った計画的かつ凶悪残忍な犯行であり、到底許すことはできません。

事件は、当会会員・関係者のみならず、多くの障害のある方やご家族、福祉関係者を不安に陥れ、深く大きな傷を負わせました。このような事件が二度と起きないよう、事件の背景を徹底的に究明することが必要です。

今後、事件対応に関わる皆様には、まずは被害者及び被害者の遺族・家族、同施設に入所されている方々のケアを十分に行ってくださるようお願いいたします。その上で、事件の背景・原因・内容を徹底して調査し、早期に対応することと中長期に対応することを分けて迅速に行いつつ、深く議論をして今後の教訓にしてください。加えて、本事件を風化させないように今後の対応や議論の経過を情報として開示してください。

また、事件で傷ついた被害者やご遺族が少しでも穏やかに過ごせるよう、特に報道関係機関には特段の配慮をお願いします。

事件の容疑者は、障害のある人の命や尊厳を否定するような供述をしていると伝えられています。しかし、私たちの子どもは、どのような障害があっても一人ひとりの命を大切に、懸命に生きています。そして私たち家族は、その一つひとつの歩みを支え、見守っています。事件で無残にも奪われた一つひとつの命は、そうしたかけがえない存在でした。犯行に及んだ者は、自らの行為に正面から向きあい、犯した罪の重大さを認識しなければなりません。

また、国民の皆様には、今回の事件を機に、障害のある人一人ひとりの命の重さに思いを馳せてほしいのです。そして、障害の有る無しで特別視されることなく、お互いに人格と個性を尊重しながら共生する社会づくりに向けて共に歩んでいただきますよう心よりお願い申し上げます。